

# BUSINESS REPORT

株主の皆様へ



証券コード:5706

2018

秋冬号

特集: **マテリアルの知恵を活かす**

Vol.5

**自動車部品事業**

第94期上半期報告書

2018年4月1日 ▶ 2018年9月30日

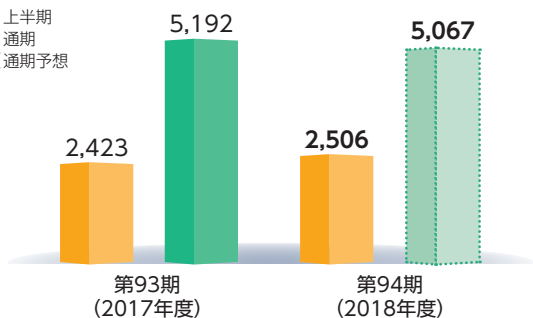




# Financial Highlights 財務ハイライト (第94期上半期)

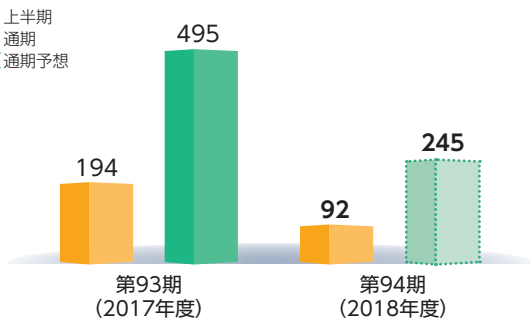
## 売上高 (億円)

■ 上半期  
■ 通期  
■ 通期予想



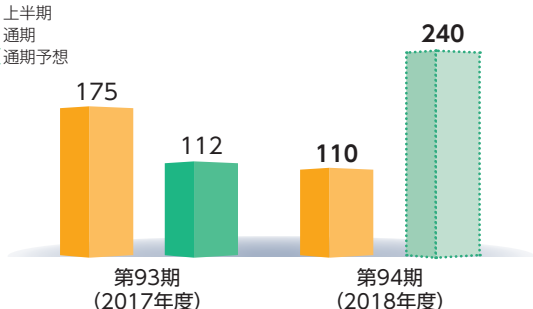
## 営業利益 (億円)

■ 上半期  
■ 通期  
■ 通期予想



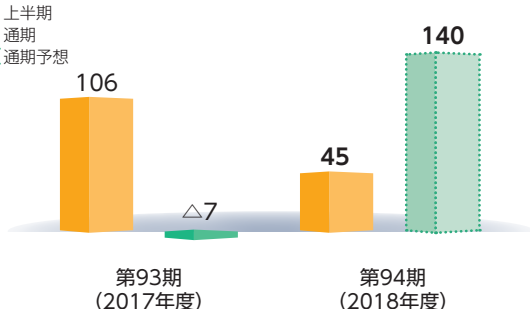
## 経常利益 (億円)

■ 上半期  
■ 通期  
■ 通期予想



## 親会社株主に帰属する四半期(当期)純損益 (億円)

■ 上半期  
■ 通期  
■ 通期予想



(注) 通期予想につきましては、2018年11月9日現在において入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

## セグメント別業績の概況



### 機能材料

#### ◆ 当上半期のポイント

高密度実装配線基板向けのキャリア付極薄銅箔の需要は低調であったものの、排ガス浄化触媒等の需要が堅調に推移したこと等から売上高は増加。経常利益は、原料代やエネルギーコストの上昇等により減少。

売上高 **867** 億円  
(前年同期比7.7%増)

経常利益 **116** 億円  
(前年同期比16.4%減)



### 金属

#### ◆ 当上半期のポイント

亜鉛・鉛のLME(ロンドン金属取引所)価格は、上半期後半から下落基調で推移したものの、上半期の平均価格が上昇したこと等から売上高は増加。在庫要因が悪化したこと等により経常損失を計上。

売上高 **843** 億円  
(前年同期比2.6%増)

経常損失 **31** 億円  
(前年同期は0億円の経常利益)



### 関連

#### ◆ 当上半期のポイント

各種産業プラントエンジニアリング事業においては、国内グループ企業の大規模定期修繕工事による完成工事高が減少したものの、ダイカスト製品等の販売量の増加等から売上高は増加。経常利益は在庫要因が悪化したこと等により減少。

売上高 **614** 億円  
(前年同期比2.5%増)

経常利益 **21** 億円  
(前年同期比23.6%減)



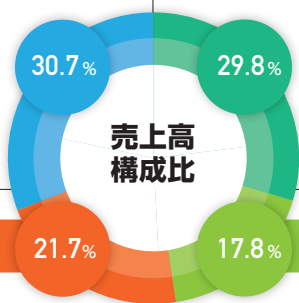
### 自動車部品

#### ◆ 当上半期のポイント

自動車用ドアロックの国内市場は低調であったものの、中国市場は堅調に推移したことから、売上高は増加。経常利益は、鋼材価格の上昇による影響等により減少。

売上高 **504** 億円  
(前年同期比2.6%増)

経常利益 **18** 億円  
(前年同期比17.3%減)



(注) 各セグメントの売上高および経常損益はセグメント間の内部売上高または振替高を含んでいます。



## 新任監査役2名を選任

2018年6月

第93期定時株主総会においては、2名の退任監査役に代わり、常勤監査役 吉田亮、社外監査役 石田徹が新たに選任されました。常勤監査役および社外監査役は各2名、計4名と従来と変わらない体制となっており、財務・会計・法務に関する知見、当社での業務執行経験、独立した立場や専門的見地などから執行状況の監査を行っています。



常勤監査役  
吉田 亮 (よしだ あきら)



社外監査役  
石田 徹 (いしだ とおる)

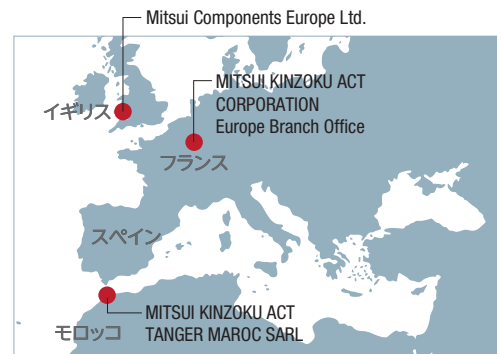
## ドアラッチ等自動車部品の製造・販売のための支社設置と新会社設立 ～欧州域内のビジネス拡大を推進～

2018年6～8月

三井金属アクト株式会社は、販売・開発窓口としてフランス共和国パリ市郊外に欧州支社を設置(6月)するとともに、製造・販売拠点として欧州本土に近いモロッコ王国タンジェ市のフリーゾーン内に新会社を設立(8月)しました。新会社の操業開始は2020年1月の予定です。

欧州域内の市場動向やお客様のニーズに機敏に対応し、欧州域内の事業拡大を目指します。

※フリーゾーン:土地・電気・水・交通網等のインフラが整備された工業団地。モロッコ王国法により、税制面等での優遇措置が定められている。



新会社(モロッコ)と三井金属アクトグループの欧州域内の事業拠点

## 三井金属グループCSR報告書2018発行

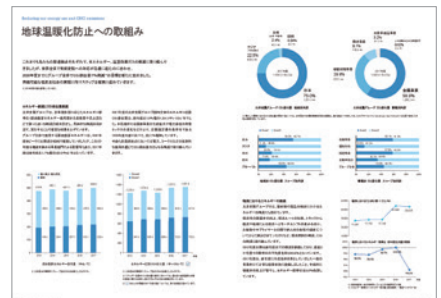
2018年7月

当社は、持続可能な社会の実現に向けて、三井金属グループが果たすべき企業の社会的責任(CSR)に関する考え方や取組みを、ステークホルダーの皆様にご理解いただくためにCSR報告書を毎年発行しています。

2018年版では、三井金属グループのマテリアリティ(重要課題)について、ESG(環境・社会・ガバナンス)の視点で、さらにはSDGsの17の目標を基準として、経営へのインパクトを評価するマテリアリティ・アセスメントの実施と各マテリアリティの進捗、2017年度のCSRの取組みについて報告しています。ぜひご一読ください。

●最新のCSR報告書をご覧ください。

<https://www.mitsui-kinzoku.co.jp/csr/>



# Special Feature

ちえ  
知恵の環

特集:マテリアルの知恵を活かす Vol.5

## “さらなる成長への挑戦”

～3カ年の中期経営計画「16中計」の達成に向けて～

### 自動車部品事業:三井金属アクト

三井金属グループの中期経営計画「16中計」(2016年度～2018年度)では、10年後のありたい姿を見据え、「機能材料、金属、自動車部品の3事業を核に、成長商品・事業を継続的に創出可能な体制を構築する」を基本方針としています。特集「マテリアルの知恵を活かす」では、これら3事業および成長商品・事業について取り上げ、株主の皆様に分かりやすくご紹介しています。今回は自動車部品事業を展開する「三井金属アクト株式会社」についてです。

### 事業の特徴

三井金属グループは長年にわたり、高品質な自動車部品を開発・提供し、自動車産業の技術革新を支えてきました。その中核を担う当社100%子会社の三井金属アクト(神奈川県横浜市)は、ドア周りの機能部品を中心に開発・製造しており、世界で走る自動車の“5台に1台”に同社の自動車部品が採用されています。日本国内の他、米国、中国、タイなどに生産拠点を構え、グローバルなニーズに応える最適なデリバリー体制を確立しており、小型・軽量・高強度で安全性が高く、ドア閉扉音や操作性に優れていることが高く評価されています。

基本方針

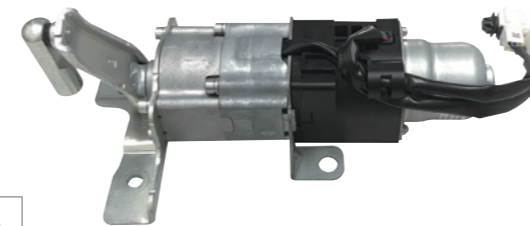


## POINT

### オートサイドドアシステムの開発スタート

自動車用ドアラッチは重要保安部品として高い安全性が求められる製品でもあり、要求性能を満たすためには高い技術力が必要とされます。三井金属アクトは、そのニーズに応えるため、製品開発力、技術力を培ってきました。また、国内外拠点の緊密な連携によりスピード感のある開発を行い、新しい製品や技術をお客様へタイムリーに提案しています。今後、「自動運転化」「高齢化社会」によって、安全性、利便性向上を目的としてオートドアの普及が見込まれます。現在は、1988年に日本で初めて市場投入した「パワースライドドアシステム」、近年のスポーツ用多目的車(SUV)ブームによって拡がりをみせる「パワーバックドアシステム」の実績を活かし、「オートサイドドアシステム」の開発を新たに手がけています。

三井金属アクトは、お客様に「安全」「快適」「感動」を提供し続けるため、これからも次世代製品の開発に注力していきます。



パワーバックドア駆動ユニット

三井金属アクトについては、TOPICS、中国拠点紹介も併せてご覧ください。

### 「品質」を最優先に取組みを推進

三井金属アクトでは、品質保証部門をトップの直下に配置するなど、トップが品質改善の先頭に立つことで、国内から海外拠点まで一貫して、高品質・高レベルの製品を世界に供給しています。製品開発においても、実車レベルでの品質確認、良質なドア開閉音作りなど、サプライヤーの枠を超える徹底した品質への拘りにより、お客様から優秀なサプライヤーとして評価いただいています。これからも品質最優先で、確かな提案力と供給力、そして充実したフォロー体制により世界の自動車産業をサポートしていきます。



高級感のあるドア閉まり音を作り込む様子

## 「安全」「快適」「感動」を提供する自動車部品のグローバルサプライヤー

### 自動車部品関連のグループ会社

#### 三井金属ダイカスト

アルミニウムやマグネシウムなどの素材を用いたダイカスト製品を一貫生産。長きにわたる歴史と経験に裏打ちされた高い技術力をもとに一貫生産体制を確立し、様々な自動車用部品の製造を手がけています。中でもLEDランプ用ヒートシンク※は多くのお客様に評価され、受注も好調に推移しています。



自動車 LED ランプ用ヒートシンク

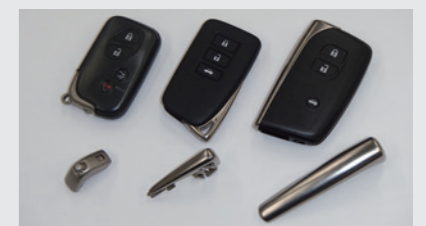
※ヒートシンク: 金属の熱伝導性を利用した放熱部品

#### 神岡部品工業・九州精密機器

エンジン、ステアリング、シートベルト等に使用される高精度・複雑形状の粉末冶金部品や電子キー等に使用される金属粉末射出成形(Metal Injection Molding)部品の製造を手がけ、自動車産業に貢献しています。



粉末冶金部品(神岡部品工業)



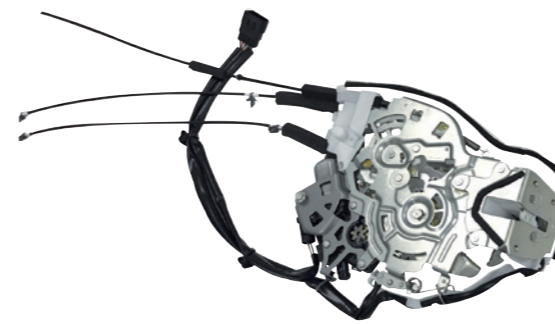
金属粉末射出成形部品(九州精密機器)



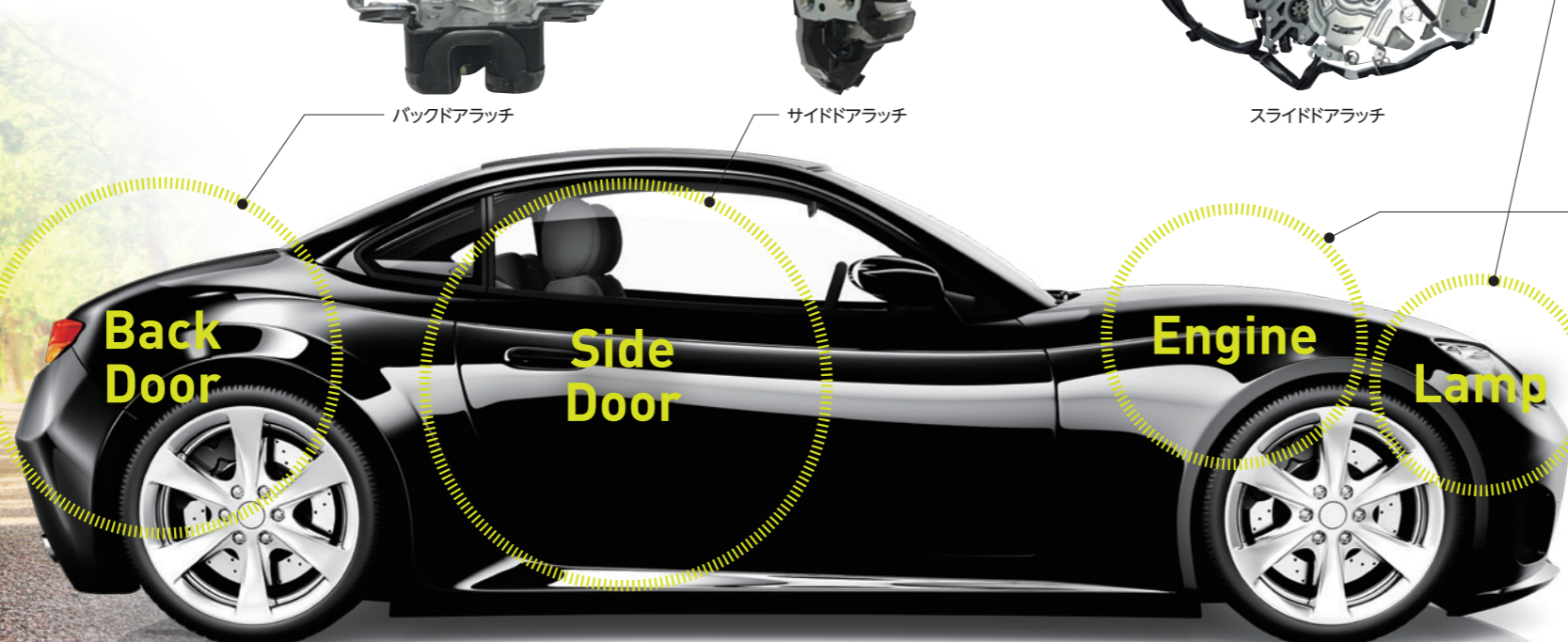
バックドアアタッチ



サイドドアアタッチ



スライドドアアタッチ



# 中国拠点紹介

中国江蘇省

三井金属グループでは、機能材料、金属、自動車部品など複数の事業分野において、グローバルに事業を展開しています。今回は、その中で中国江蘇省の事業拠点の一部をご紹介します。

## 自動車部品事業

### 無錫大昌機械工業有限公司



自動車用ドアラッチの生産ライン

- ※1 チェックリンク: 自動車のドアが全開のときにはストッパーがかかり、半開の状態にしたときにはそれを保持する部品。
- ※2 ヒンジ: 車体と自動車のドア等を繋ぐ部品(ちょうつがい)。
- ※3 次世代型生産ライン: 磁力によって動くことで、速度や動作の設定が容易にできるライン。

## 世界で最も競争力のある自動車部品工場を目指す

無錫大昌機械工業有限公司は三井金属アクトの子会社であり、中国における自動車部品事業の主力工場として、チェックリンク※1、ヒンジ※2、ドアラッチなどの製造を行っています。次世代型生産ライン※3の導入、内製化・製造ラインの自動化などの設備投資や中国の技術者を日本の製造現場へ派遣することによる技術の向上などにより、お客様のニーズに答えています。

「世界で最も競争力のある工場」を目指し、より一層低コスト・高品質な製品作りを探求し、中国現地の自動車メーカーへの拡販にも取り組んでいきます。



董事 兼 総経理  
若井 健太郎  
(わかい けんたろう)

## 銅箔事業

### 三井銅箔(蘇州)有限公司



最終製品の品質検査の様子



加工工程で働くみなさん

三井銅箔(蘇州)有限公司(当社100%子会社)は中国における銅箔の加工物流拠点として、台湾・マレーシアで製造された銅箔をお客様のニーズに応じて加工し、短納期に対応しています。同時に北京から重慶など中国を幅広くカバーする営業拠点の役割も担っています。同社が取り扱う製品の中でもキャリア付極薄銅箔(MicroThin™)等の高機能銅箔は、極めて高い品質が要求されます。製品の加工工程は品質に大きな影響を与えます。そのため品質保証体制および生産設備の保全体制の強化が課題であり、将来を見越した若い人材の確保・グループ内での人事交流による技術力の底上げに取り組んでいます。これからますます高度化・多様化するお客様のニーズに万全な生産体制で応えていきます。



董事 兼 総経理  
三輪 昌宏  
(みわ まさひろ)

## 万全な生産体制でお客様の多様なニーズに応える

## セラミックス事業

### 三井金属特種陶瓷(蘇州)有限公司

## 成長が期待される中国市場での事業拡大を目指す



メタロフィルタ®内周検査の様子

メタロフィルタ®で濾過されたものとなっています。今後も中国国内での高品質アルミニウムの需要は増えると予想されるため、メタロフィルタ®の拡販を図っていきます。

三井金属特種陶瓷(蘇州)有限公司(当社100%子会社)はセラミックス事業における初の海外拠点です。高品質のアルミニウム製品を製造する際に異物を取り除くフィルター(メタロフィルタ®)を製造しています。それら高品質のアルミニウムはアルミ缶材などに使用されており、中国は今後最も成長が期待される市場の1つです。中国で一貫生産とアフターサービスまで行う企業は三井金属特種陶瓷(蘇州)有限公司のみであるという強みを活かし、今日では中国産アルミ缶材の多くが



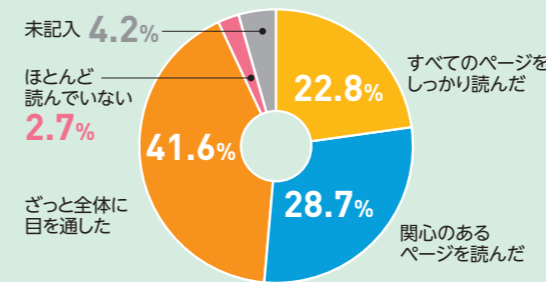
董事 兼 総経理  
永留 朝郎  
(ながとめ ともお)

## 株主様アンケート結果のご報告

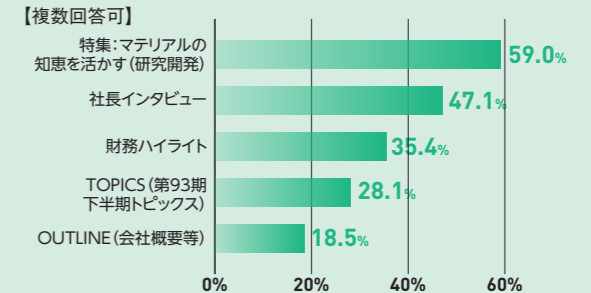
本誌「BUSINESS REPORT」第93期報告書にて実施させていただきました「株主様アンケート」では、皆様からのご回答ならびに貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。以下にアンケート結果の一部をご報告いたします。

アンケート実施期間: 2018年6月28日~2018年7月31日 有効回答数: 3,853件(回答率11.7%)

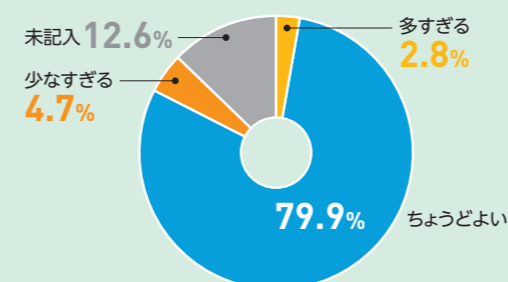
### Q1 報告書についてどの程度読んでいただけましたか



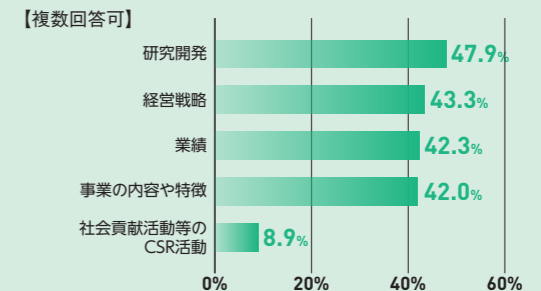
### Q2 報告書についてどの掲載内容を中心にご覧になりましたか



### Q3 報告書の情報量についてどう思われますか



### Q4 今後、充実を希望する情報をお選びください



今後とも、株主の皆様からのご意見をお聞かせいただきながら、IR活動のさらなる充実や「BUSINESS REPORT」紙面の充実に向け取り組んでまいりたいと存じますので、引き続きご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

# OUTLINE

## → 会社概要 (2018年9月30日現在)

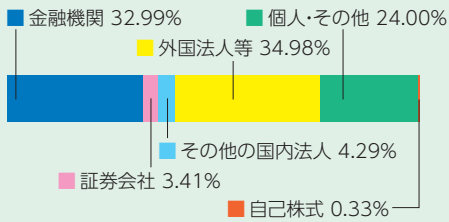
商号 三井金属鉱業株式会社  
(Mitsui Mining & Smelting Co., Ltd.)  
[呼称:三井金属/MITSUI KINZOKU]

本店 東京都品川区大崎一丁目11番1号  
設立 1950年5月1日  
資本金 42,129百万円

## → 株式の状況 (2018年9月30日現在)

発行可能株式総数 / 190,000,000株  
発行済株式総数 / 57,296,616株  
株主数 / 35,162名

### 所有者別株式分布状況



### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	5,426	9.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	4,280	7.49
JP MORGAN CHASE BANK 385632	2,536	4.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,679	2.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	1,040	1.82
三井金属社員持株会	960	1.68
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	830	1.45
EUROCLEAR BANK S.A./N.V.	811	1.42
JP MORGAN CHASE BANK 385151	784	1.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口1)	754	1.32

※持株比率は自己株式 (189,382株) を控除して計算しております。  
※持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

## → 株主メモ

定時株主総会の議決権の基準日 3月31日  
期末配当の基準日 3月31日  
中間配当の基準日 9月30日  
定時株主総会 6月下旬

株主名簿管理人・特別口座管理機関  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

同連絡先  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
☎0120-782-031

### 公告の方法

電子公告とする。 (<https://www.mitsui-kinzoku.co.jp/>)  
ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行う。

### 〈 株式事務のお取扱い 〉

- 未払配当金の支払いのお申出先  
左記三井住友信託銀行にお申し出ください。
- 住所変更、単元未満株式買取等のお申出先  
①証券会社の口座へ株式をお預けになられている株主様は、お取引のある証券会社にお申し出ください。  
②証券会社の口座へ株式をお預けになられていない (特別口座に記録されている) 株主様は、左記三井住友信託銀行にお申し出ください。

## ホームページのご案内



当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報など当社をご理解いただくための様々な情報を提供しております。

### 株主・投資家情報



「個人投資家の皆さまへ」では、事業内容や専門用語の解説、株式事務手続きなどの情報をまとめてご紹介しています。



三井金属

検索

<https://www.mitsui-kinzoku.co.jp/>

# BUSINESS REPORT

ビジネスレポート

第94期上半期報告書  
2018年4月1日 - 2018年9月30日



三井金属鉱業株式会社

総務部

〒141-8584 東京都品川区大崎一丁目11番1号  
TEL:03-5437-8240



環境に配慮した FSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。